

2023年7月12日

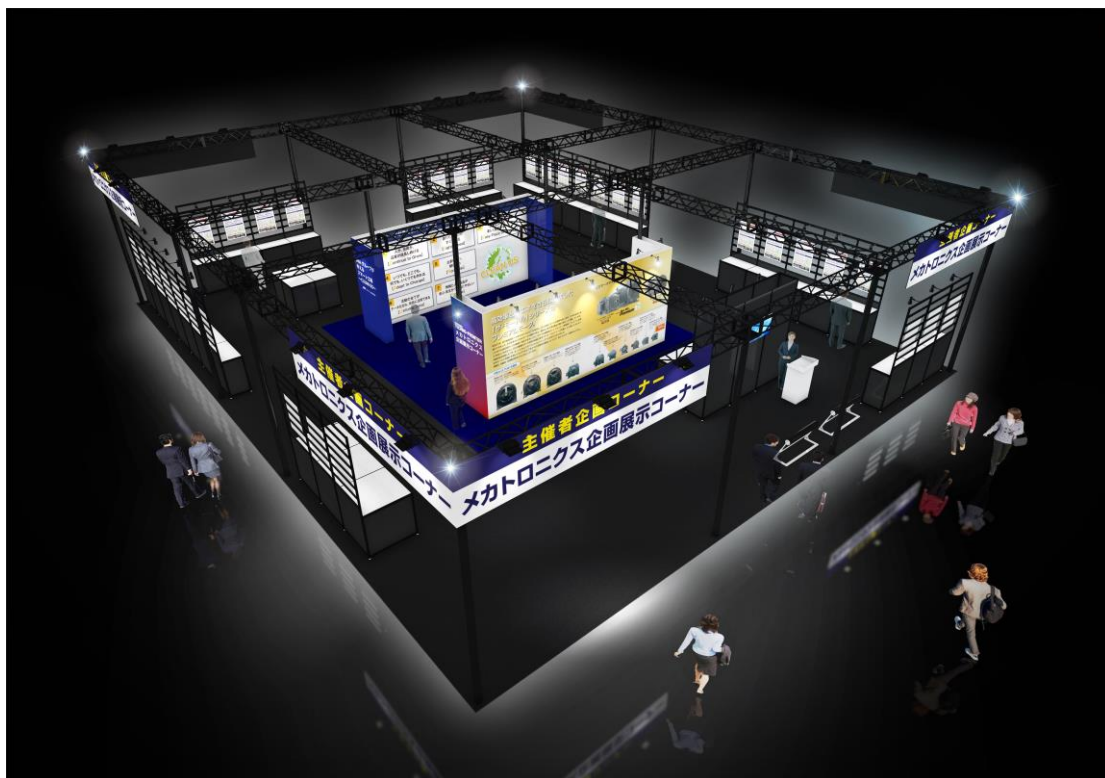
日本精工株式会社
コーポレート・コミュニケーション部

プレスリリース

「TECHNO-FRONTIER 2023」の主催者企画の展示コーナーに出展

- 設備の安定稼働と保全の効率化に貢献する技術や製品を展示
- 状態監視・診断ソフトウェア ACOUS NAVI™とワイヤレス振動診断器を紹介

日本精工株式会社(本社:東京都品川区、代表者:取締役 代表執行役社長・CEO 市井 明俊、以下当社は、2023年7月26日(水)~7月28日(金)に東京ビッグサイトで開催される一般社団法人日本能率協会(以下日本能率協会)主催の「TECHNO-FRONTIER 2023」の主催者企画に協賛し、展示コーナーに「生産・製造現場を支える予兆診断技術」として、設備の安全稼働と保全の効率化に貢献する予兆診断技術のパネル展示及び状態監視・診断ソフトウェア ACOUS NAVI の紹介とワイヤレス振動診断器(D-VibA10™)の製品展示を行います。



■TECHNO-FRONTIER 2023 の概要及び主催者企画の展示コーナーについて

「TECHNO-FRONTIER 2023」は、メカトロニクス、エレクトロニクスや関連する領域の最新技術と製品が展示される、アジア最大級の専門展示会であり、モータ技術を核として、電動・駆動・伝達・制御・計測・ソフトウェアの要素技術・生産技術・EMC/熱対策技術など、19の展示会で構成されています。

今回、展示する主催者企画の展示コーナーは、TECHNO-FRONTIERを主催する日本能率協会が企画し、TECHNO-FRONTIER メカトロニクス展示企画委員会(監修)により、「人類の生活をより豊かで快適にするスマート工場」をテーマに、メカトロニクス、エレクトロニクスや関連する専門領域の最新技術の代表的な技術を展示紹介する内容となっています。当社からは、転がり軸受やボールねじ、NSK リニアガイド™の損傷や劣化に伴う予兆診断技術を紹介致します。

■当社出展コンセプト

『生産・製造現場を支える予兆診断技術』

転がり軸受やボールねじ、リニアガイドは、損傷や劣化の発生によってその機能が失われると機械システム全体の機能損失につながる事が多くあります。そのため、これら機械要素部品を適切に保全することは、安全性、生産性の両面で重要な課題となっています。本課題解決のために、当社は生産・製造現場を支える予兆診断技術を提供し、設備の安定稼働と保全の効率化に貢献します。

■当社展示内容

生産・製造現場を支える予兆診断技術として、状態監視・診断ソフトウェア ACOUS NAVI の紹介とワイヤレス振動診断器(D-VibA10)を出展します。

◆状態監視・診断ソフトウェア ACOUS NAVI の紹介

転がり軸受やボールねじ、リニアガイドの損傷や劣化のメカニズムに基づく状態監視・診断ソフトウェアとして ACOUS NAVI を紹介します。

◆ワイヤレス振動診断器 D-VibA10

状態監視・診断ソフトウェア ACOUS NAVI を搭載。小型軽量でワイヤレス式のため携帯性に優れ、回転機械の振動測定と診断を簡単かつスピーディーに実現します。



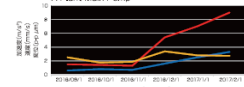
保存データの傾向管理



スマートフォンに保存したデータを設備ごとに整理し、振動値の上昇傾向を確認することができます。

スマートフォン

管理ソフトウェア



PC

<特徴>

1. コンパクト・軽量
2. ワイヤレス接続
3. 高機能
4. 軸受損傷を自動診断(即時診断)
5. 管理ソフトウェアによるデータ管理(トレンドグラフ表示、自動報告書作成機能など)

■ 出展概要

展示会名	TECHNO-FRONTIER 2023
開催期間	リアル展:2023年7月26日(水)~7月28日(金) 10:00~17:00 オンライン展:2023年8月1日(火)10:00~8月25日(金)17:00
会場	東京ビッグサイト 東1ホール展示棟
主催者企画ブース No.	メカトロニクス企画展示コーナー内
公式サイト	TECHNO-FRONTIER 2023 日本能率協会 (jma.or.jp)

以上